

◆エネルギーについて考えよう

1	対象児童生徒の実態 情緒障害
2	指導目標 情報機器を用いて現状を把握し、自分なりの意見を持ち、友達と話し合うことで、自分達が活躍する未来世界で、エネルギーについて今後どうしたらよいか考える。
3	取組みの中心となる教科・領域等 中学2年 技術・家庭科(技術分野)
4	使用したアプリ、周辺機器 ワード、エクセル、パワーポイント、ワンドライブ、サファリ 大型テレビジョン、アップルTV、HDMI ケーブル、iPad mini
5	指導の経過及び児童生徒の変容 ・電気エネルギーについての関心は薄かったが、iPadで調べ学習や協働学習を進めていくうちに、身近で大事な問題だと意識を持ち始めた。 ・iPadを利用して課題の学習プリントや、まとめプリント等クラウド上ですべて行う予定であったが、オール電子化すると情報機器の操作に戸惑い学習に支障をきたすかもしれないということで、紙媒体も並行して用意した。紙媒体を最初から利用し学習を進める生徒は1名いたが、ほとんどの生徒は戸惑いながらも果敢に挑戦し、わからないところは自分達で教え合い解決し、最終的には使いこなしていた。
6	指導のポイント ・やるべき課題を文字だけでなく、図を用いて明確に伝える。 ・アプリの基本的な使用方法は説明するが、細かなところは自分たちで試行錯誤しながら解決するよう促し、協力して教え合う喜びを体験させる。